

AIT Drive

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

StorStation

AIT-5 TAPE DRIVE
AITi1040/AITi1040V

AIT-4 TAPE DRIVE
AITi520/AITi520V

AIT-3 Ex TAPE DRIVE
AITi390/AITi390V

AIT-3 TAPE DRIVE
AITi260/AITi260V

AIT-2 TAPE DRIVE
AITi130/AITi130V

AIT-1 TAPE DRIVE
AITi90/AITi90V

**警告**

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐに修理窓口、または販売店にご連絡ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



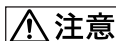
- ① 電源を切る
- ② パソコンのAC電源コードやインターフェースケーブルを抜く

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

**警告**

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

**注意**

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く

目次

はじめに	8
本機の特長	8
使用できるデータカートリッジ	10
使用上のご注意	11
設置について	11
操作について	11
搬送について	11
SCSI終端抵抗について	12
各部の名称と働き	13
設定	15
ジャンパーの設定	15
オプションスイッチ（DIPスイッチ）の設定	16
取り付け穴	21
3.5インチ標準サイズへの変更	23
取り付け方向	24
防塵カバーの取り付け・取り外し	25
防塵カバーの取り付けかた	25
取り外しかた	27
操作	28
カートリッジの挿入	28
カートリッジの取り出し	29
テープの書き込み保護	29
カートリッジの強制取り出しについて	32
WORM機能について	34
インターフェース	37
SCSIメッセージ	37
SCSIコマンド	37
主な仕様	40
お問い合わせ先	43
デバイスドライバーについて	43

・本製品を使用したことにより、万一カートリッジに記録されているデータが失われた場合でも、ソニーでは責任を負いかねますのでご了承ください。

・本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、ソニーでは一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けが
につながる可能性があります。



プラグをコンセントから抜く

パソコンの電源コードを抜き電源を切る

本機をパソコンに取り付けるときは、必ずパソコンの電源コードをコンセントから抜き、電源を切ってください。感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。

万一、電源コードが傷んだら、パソコン本体の修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、修理窓口、または販売店にご依頼ください。



分解禁止

内部を開けない

開けたり改造したりすると、レーザー光線による視力障害や、火災、感電の原因となることがあります。内部の点検、修理は修理窓口、または販売店にご依頼ください。



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



禁止

パソコンから供給されるDC 12 V／5 V電源プラグ 以外は接続しない

火災や感電の原因となります。



指示

DC 12 V／5 V電源プラグは根元まで本機のコネク ターにさしこむ

しっかり根元までさしこまないと、火災や感電の原因となります。



禁止

DC 12 V／5 V電源プラグの向きを逆に接続しない

無理に電源プラグの向きを反対に接続しないでください。火災や感電の原因になります。



指示

DC 12 V／5 V電源プラグについてのホコリなどは定 期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不足となり、火災の原因となります。



接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



禁止

ぬれた手や素手でパソコン内の電源部や電源プラグをさわらない

ぬれた手や素手でパソコン内の電源プラグや電源部に触れると、感電やパソコンの故障の原因となります。また、筐体のバリに触れるとけがの原因となります。



禁止

パソコンを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の
物品に損害を与えたりすることがあります



注意

本機の取り付けは、市販の適切なネジを使用する

本機をパソコンに取り付けるには、必ず市販の適切なネジを用いて、パソコンに固定してください。

ネジで固定しないと、本体がパソコンから外れて落下したり接続ケーブルを破損する原因となります。

また、ネジをパソコン内部に落下させた場合は、必ず取り除いてください。そのままパソコンを使用すると、故障の原因となります。



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときはパソコンの電源コードを抜く

長時間使用しないときは、安全のためパソコンの電源プラグをコンセントから抜いてください。



禁止

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

RoHS指令（欧州環境規制）に対応済

はじめに

本機は以下のフォーマットに対応した内蔵型テープドライブです。

	対応フォーマット
AITi1040/AITi1040V	AIT-5/AIT-4/AIT-3 Ex/AIT-3
AITi520/AITi520V	AIT-4/AIT-3 Ex
AITi390/AITi390V	AIT-3 Ex/AIT-3/AIT-2 Turbo/AIT-2 (Readのみ) /AIT-1 Turbo (Readのみ) /AIT-1 (Readのみ) /AIT-E Turbo (Readのみ)
AITi260/AITi260V	AIT-3/AIT-2/AIT-1
AITi130/AITi130V	AIT-2/AIT-1
AITi90/AITi90V	AIT-1

本機の特長

	データ容量 (データ非圧縮時)	転送レート (データ非圧縮時)
AITi1040/ AITi1040V	400 Gバイト * SDX5-400C 使用時 (SDX4-200C 使用時は AITi520/ AITi520V と同様、SDX3X-150C、 SDX3-100C 使用時は AITi390/ AITi390V と同様)	24 Mバイト/秒 * SDX5-400C、SDX4-200C 使用時 (SDX3X-150C、SDX3-100C 使用時は AITi390/AITi390V と同様)
AITi520/ AITi520V	200 Gバイト * SDX4-200C 使用時 (SDX3X-150C 使用時は AITi390/ AITi390V と同様)	24 Mバイト/秒 * SDX4-200C 使用時 (SDX3X-150C 使用時は AITi390/ AITi390V と同様)
AITi390/ AITi390V	150 Gバイト * SDX3X-150C 使用時 (SDX3-100C、SDX2-50C、SDX1-35C 使 用時は AITi260/AITi260V と同様)	18 Mバイト/秒 * SDX3X-150C 使用時 (SDX3-100C、SDX2-50C、TAIT2-80N、 TAIT2-80C、TAIT1-40N、TAIT1-40C、 TAITE-20N 使用時は 16 Mバイト/秒、 SDX1-35C 使用時は 11 Mバイト/秒)
AITi260/ AITi260V	100 Gバイト * SDX3-100C 使用時 (SDX2-50C、SDX1-35C 使用時は AITi130/AITi130V と同様)	12 Mバイト/秒

	データ容量（データ非圧縮時）	転送レート（データ非圧縮時）
AITi130/ AITi130V	50G バイト * SDX2-50C 使用時 （SDX1-35C 使用時は AITi90/AITi90V と同様）	6 M バイト／秒
AITi90/ AITi90V	35G バイト * SDX1-35C 使用時	4 M バイト／秒

- バースト転送レート

AITi1040, AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V,
AITi260, AITi260V :

160 M バイト／秒（同期）

AITi130, AITi130V, AITi90, AITi90V : 40 M バイト／秒（同期）

- 大容量バッファメモリー

AITi1040, AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V :
96 M バイト

AITi260, AITi260V : 32 M バイト

AITi130, AITi130V, AITi90, AITi90V : 12 M バイト

- 5.25 インチデバイスタイプ

- 内蔵型 SCSI インターフェース

AITi1040, AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V,
AITi260, AITi260V :

Ultra 160 SCSI 準拠

AITi130, AITi130V, AITi90, AITi90V :

Wide Ultra SCSI (LVD／SE) 準拠

- 可変レコード長および固定レコード長対応

- SCSI ディスコネクト／アービトレーション対応

- フレーム再書き込み機能（AIT-3、AIT-2、AIT-1）

- フラグメント再書き込み機能（AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex）

- 3 レベルのエラー訂正コード（ECC）（AIT-3、AIT-2、AIT-1）

- 2 レベルのエラー訂正コード（ECC）（AIT-5、AIT-4、AIT-3 Ex）

- 高速サーチ（通常の読み出し／書き込み速度の 120 倍）

- ランダム読み出し、アペンド書き込み

使用できるデータカートリッジ

AITi1040, AITi1040Vには、AIT-5、AIT-4、AIT-3 ExまたはAIT-3ロゴのついたデータカートリッジを使用できます。

AITi520, AITi520Vには、AIT-4またはAIT-3 Exロゴのついたデータカートリッジを使用できます。

AITi390, AITi390Vには、AIT-3 Ex、AIT-3、AIT-2 Turbo、AIT-2*、AIT-1 Turbo*、AIT-1*またはAIT-E Turbo*ロゴのついたデータカートリッジを使用できます。

AITi260, AITi260Vには、AIT-3、AIT-2またはAIT-1ロゴのついたデータカートリッジを使用できます。

AITi130, AITi130Vには、AIT-2またはAIT-1ロゴのついたデータカートリッジを使用できます。

AITi90, AITi90Vには、AIT-1ロゴのついたデータカートリッジを使用できます。

* Readのみ



ご注意

- ・本機には、上記以外のカートリッジは使用しないでください。専用のAITデータカートリッジを使用してください。
- ・市販の8 mmビデオテープは、外観は似ていますが、仕様がまったく違うので使用できません。8 mmビデオテープなどAITカートリッジ以外のカートリッジをセットしないでください。故障の原因になります。

使用上のご注意

設置について

次のような場所に本機を設置しないでください。

- 湿度の高い場所
- 気温の高い場所
- 機械的な衝撃や振動の発生する場所
- 直射日光のあたる場所

* 設置環境については38ページをご覧ください。

操作について

本機の操作では、次の点にご注意ください。

- 本機の動作中は本機を移動させないでください。故障の原因となる場合があります。
- 本機を急激な温度変化にさらさないでください。ドライブの内部に結露が生じる場合があります。使用時に気温が急激に上昇するような場合は、いったん本機の電源を切り、1時間以上待って電源を入れ直してください。急激に気温が上昇した直後に本機を使用すると、本機が故障する場合があります。
- テープに書き込みを行っている最中に電源を切ると、テープの読み出しが行えなくなることがあります。なお、電源を切る前に設定されたパラメーターは、電源のオン、オフによりすべて消去されます。

搬送について

本機を輸送する場合は、次の点にご注意ください。

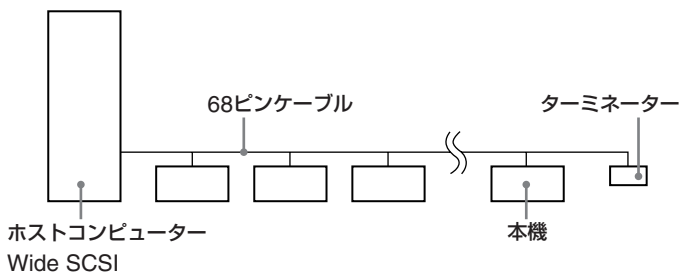
- 本機を搬送する場合に備え、梱包資材は保管しておいてください。
- 本機を移動するときは、必ずカートリッジを取り出してください。また、コンピューターから本機を取り外したら、元のパッケージに入れて保管してください。

SCSI終端抵抗について

本機は、内蔵ドライブの終端抵抗として外付けターミネーターが必要となるMicrosoft PC97規格に準拠しています。

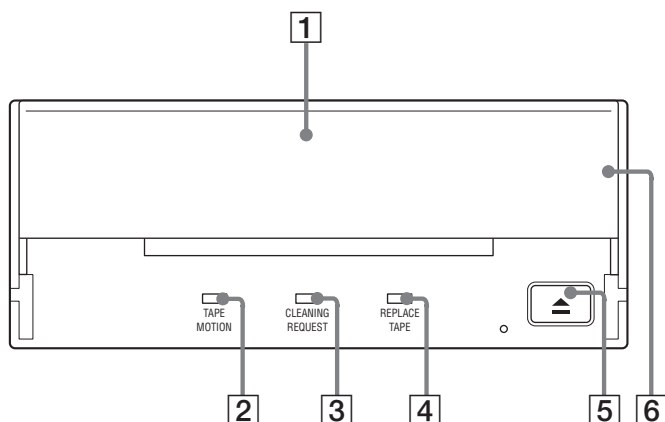
Microsoft PC97 SCSI条件

SCSIバスの終端抵抗としてSCSI周辺機器を使用することはできません。内部ケーブルおよび外部ケーブルの終端には、プラグインコネクタを取り付ける必要があります。



ホストコンピューターおよび他のSCSI機器との接続例

各部の名称と働き



① データカートリッジ挿入口

AITデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては28、29ページをご覧ください。

② テープモーションインジケータ

AITデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

カートリッジが挿入されているとき	点灯します。
カートリッジにデータをRead/Writeしているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジにRead/Write以外の動作をしているとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

③ クリーニングリクエストインジケータ

クリーニングに関するステータス状態を表示します。

クリーニングが必要なとき	点灯します。
クリーニング動作が進行中のとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

④ リプレーステーピングインジケータ

挿入されているAITデータカートリッジの状態を表示します。

カートリッジが劣化してきたとき	等間隔に点滅します。
カートリッジを交換すべき時期が来たとき*	点灯します。

* テープに起因するエラーが一定レベル以上に達したとき

- さらに②、③、④のインジケータが同時に点滅する場合は、ハードウェア的な問題が起きていることを示します。

カートリッジを入れ替えたり、電源を入れなおしても同じ状態が続くようなら、本機のお買い上げ店に点検・修理をご相談ください。

⑤ EJECTボタン

AITデータカートリッジを本機から取り出すときに押します。

⑥ 防塵カバー

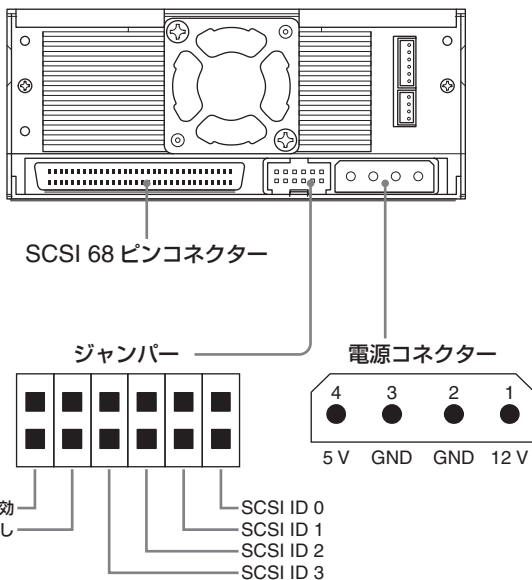
データカートリッジ挿入口からのダスト流入を低減させるカバーです。カートリッジ出し入れ時以外は閉じて使用してください。

ジャンパーの設定

背面図は、AITi1040、AITi1040Vの例です。

SCSI ID

SCSI ID	7	6	5	4	3	2	1	0
0								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								



パリティ

無効					
有効					

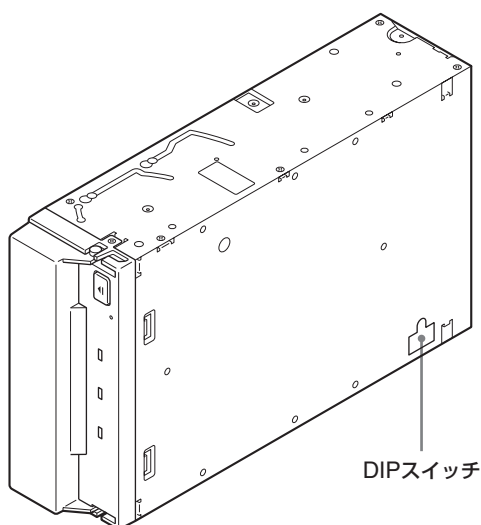
Note :

- ☐ = 閉 / ジャンパー使用
- ☒ = 開 / ジャンパー未使用
- ☐ = 関係なし

パリティ無効ジャンパーについて

パリティチェック機能は、ジャンパーにより無効にすることができます。左端のジャンパーを取り付けると、パリティチェックは無効となります。なお、パリティ生成機能は常に有効です。

オプションスイッチ (DIPスイッチ) の設定



DIPスイッチのポジション

—AITi1040, AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390Vの場合

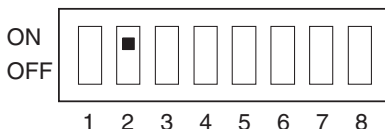
● 工場出荷時



- 1 DR (Disaster Recovery) Mode (OFF)
- 2 Emulation Mode (OFF)
- 3 AIT Library Interface Mode (ON)
- 4 Reserved (OFF)
- 5 Terminator Power (ON)
- 6 Periodic Cleaning Req (OFF)
- 7 データ圧縮 (1) (ON)
- 8 データ圧縮 (2) (OFF)

● Emulation Mode*

Emulation Modeにするには、DIPスイッチ2 [Emulation Mode] をONにします。



* Emulation Modeでは、AITi1040、AITi1040VのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

SDX-900V

* Emulation Modeでは、AITi520、AITi520VのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

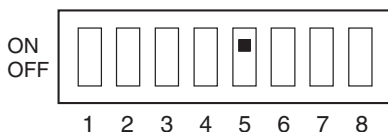
SDX-700C

* Emulation Modeでは、AITi390、AITi390VのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

SDX-700C

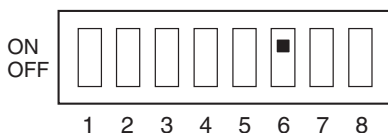
● Terminator Power

ターミネーターへの電源供給を有効にするには、DIPスイッチ5 [Terminator Power] をONにします。



● Periodic Cleaning Request Mode

Periodic Cleaning Requestを有効にするには、DIPスイッチ6 [Periodic Cleaning Req] をONにします。



動作 100時間ごとに、前面パネルの“CLEANING REQUEST”LEDが点灯します。

“CLEANING REQUEST”LEDが点灯しているときは、クリーニングテープでクリーニングを実施してください。

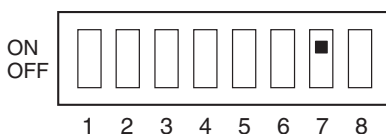
メモ

ほこり等の気になる環境で、ドライブを最適な状態に保つためには、クリーニングリクエストを有効にしてご使用になることをおすすめします。

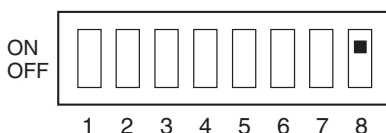
● データ圧縮の設定について

データ圧縮は、DIPスイッチで設定することができます。

DIPスイッチ7 [データ圧縮 (1)] がON のときは、データ圧縮が有効となります。



DIPスイッチ8 [データ圧縮 (2)] をON にすると、ホストによるコントロールが無効となります。



DIPスイッチのポジション

—AITi260, AITi260V, AITi130, AITi130V, AITi90, AITi90Vの場合

● 工場出荷時



- 1 Drive Mode (OFF)
- 2 Drive Mode (OFF)
- 3 Drive Mode (OFF)
- 4 Drive Mode (OFF)
- 5 Terminator Power (ON)
- 6 Periodic Cleaning Req (OFF)
- 7 データ圧縮 (1) (ON)
- 8 データ圧縮 (2) (OFF)

● Emulation Mode*

Emulation Modeにするには、DIPスイッチ 1-4 [Drive Mode] をONにします。



* Emulation Modeでは、AITi260、AITi260VのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

SDX-700C

* Emulation Modeでは、AITi130、AITi130VのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

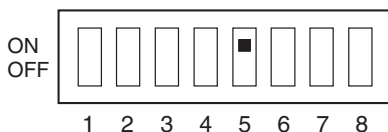
SDX-500C

* Emulation Modeでは、AITi90、AITi90VのInquiryのProduct Identification fieldにおいて次の文字列を返します。

SDX-400C

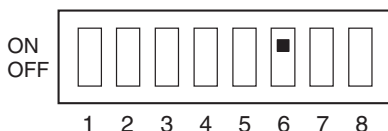
● Terminator Power

ターミネーターへの電源供給を有効にするには、DIPスイッチ5 [Terminator Power] をONにします。



● Periodic Cleaning Request Mode

Periodic Cleaning Requestを有効にするには、DIPスイッチ6 [Periodic Cleaning Req] をONにします。



動作 100時間ごとに、前面パネルの“CLEANING REQUEST”LEDが点灯します。

“CLEANING REQUEST”LEDが点灯しているときは、クリーニングテープでクリーニングを実施してください。

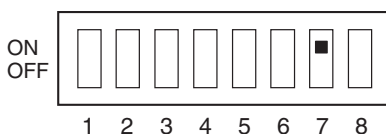
メモ

ほこり等の気になる環境で、ドライブを最適な状態に保つためには、クリーニングリクエストを有効にしてご使用になることをおすすめします。

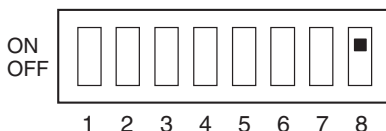
● データ圧縮の設定について

データ圧縮は、DIPスイッチで設定することができます。

DIPスイッチ7 [データ圧縮 (1)] がON のときは、データ圧縮が有効となります。



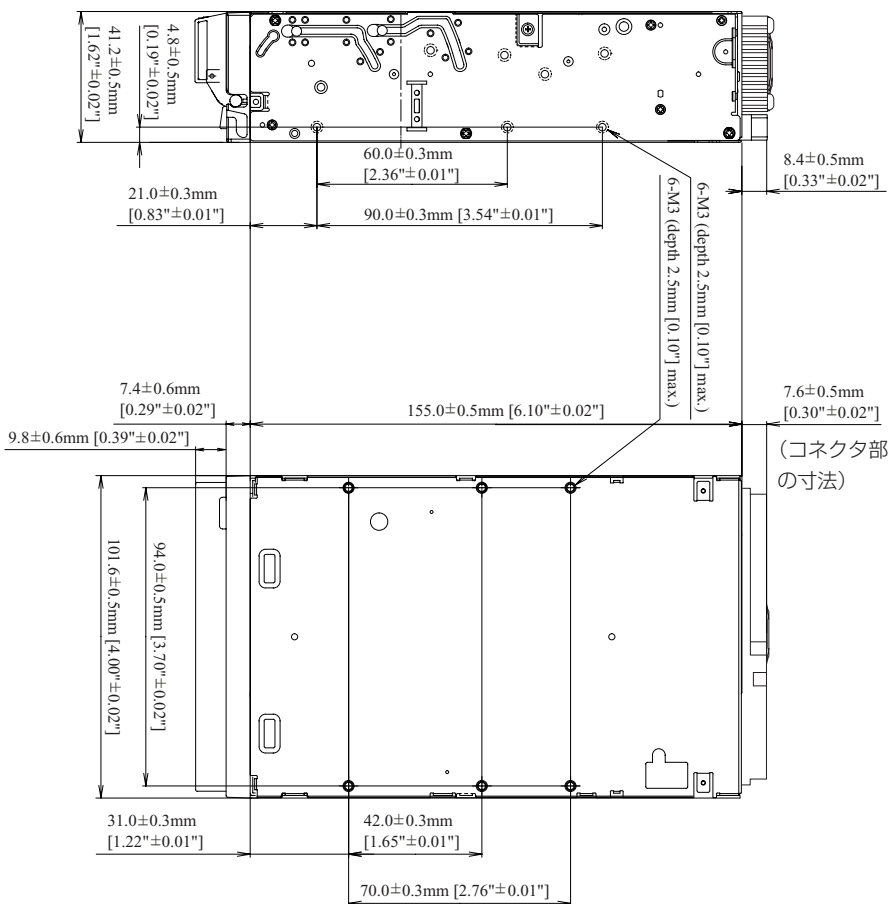
DIPスイッチ8 [データ圧縮 (2)] をON にすると、ホストによるコントロールが無効となります。



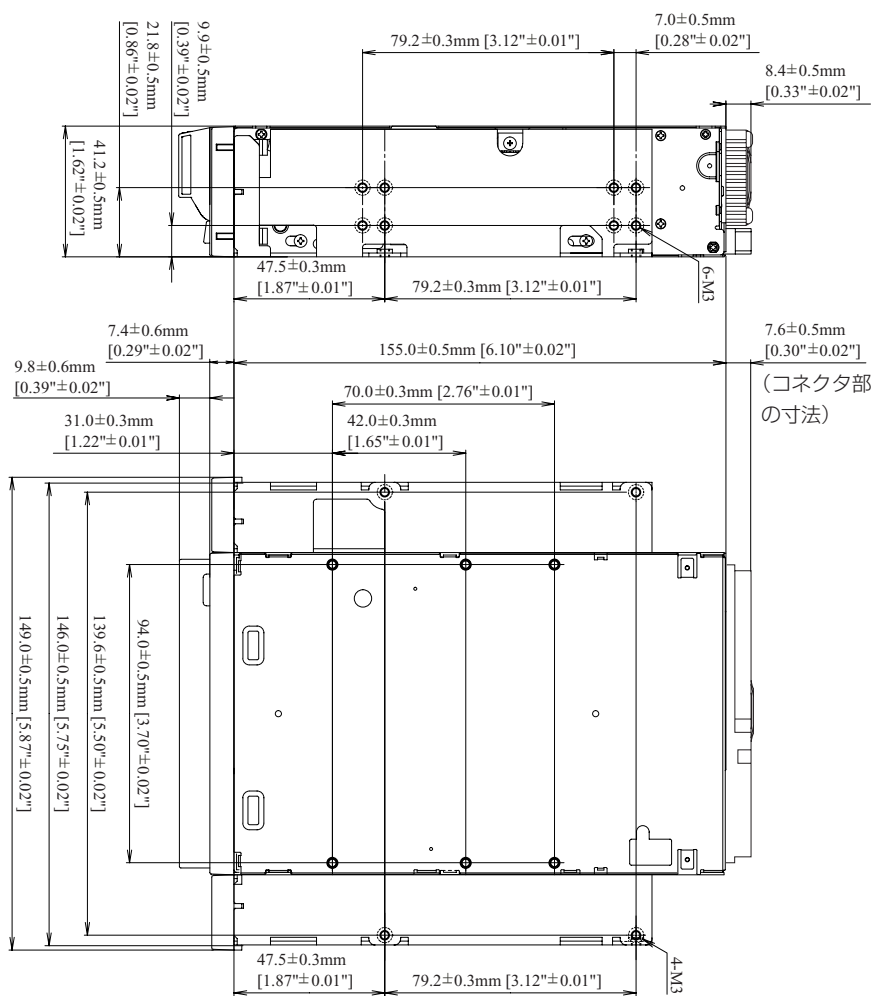
取り付け穴

図はAITi390、AITi390Vの場合。他のモデルも穴位置は同じです。

3.5インチ標準サイズ



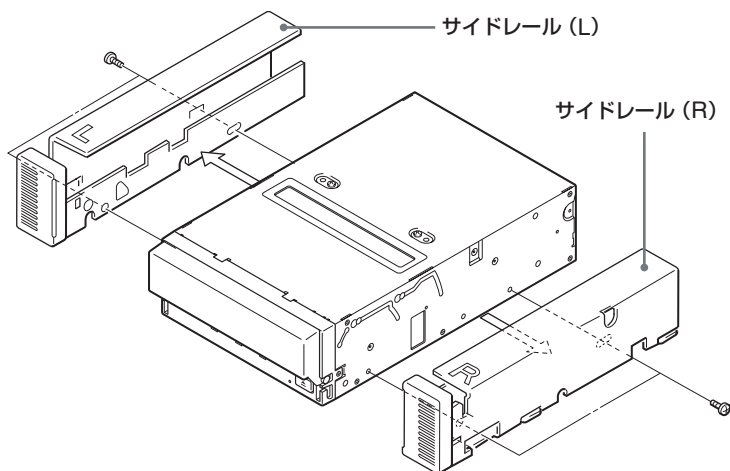
5.25インチ標準サイズ



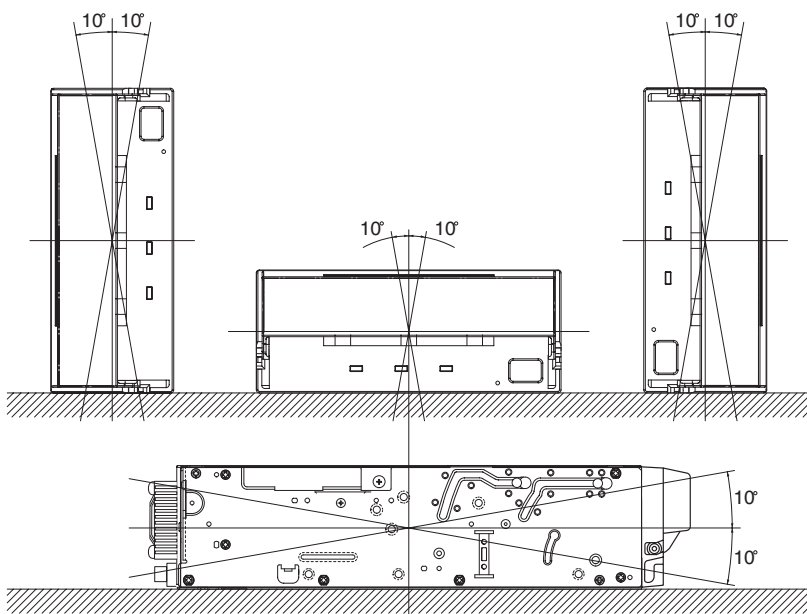
3.5インチ標準サイズへの変更

以下の手順で、5.25インチ標準サイズから3.5インチ標準サイズに変更できます。

- 1 左右それぞれのサイドレールを取り付けている2本のネジを外す。
- 2 サイドレールを取り外す。



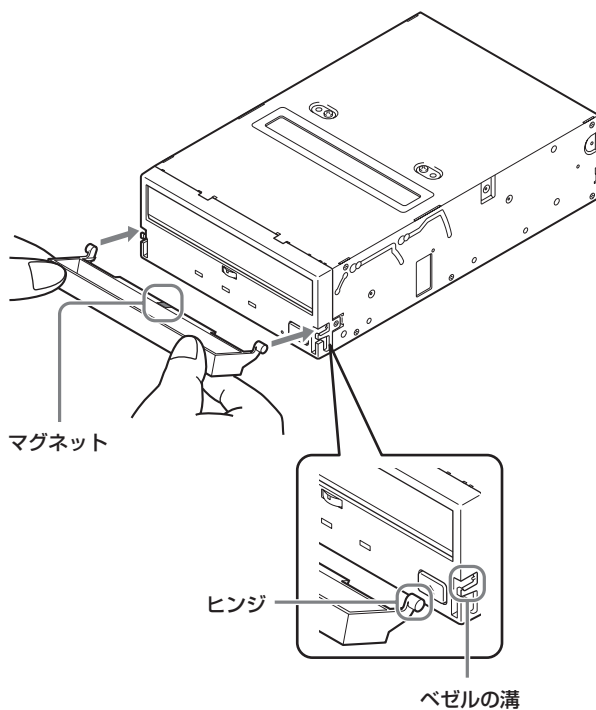
取り付け方向



防塵カバーの取り付け・取り外し

防塵カバーの取り付けかた

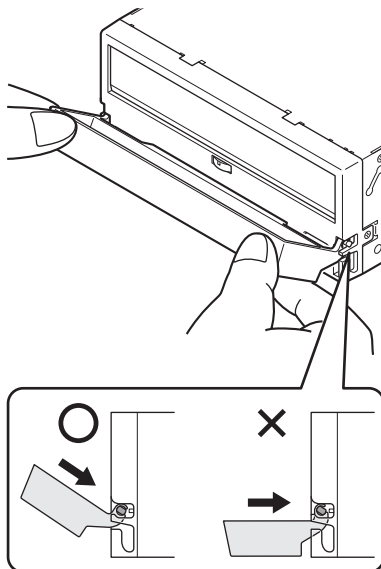
- 1 図のように、防塵カバーを斜めに傾け、防塵カバーのヒンジ（左右2か所）をドライブのベゼルの溝に合わせる。
 - 防塵カバー裏面のマグネット*がドライブのベゼルと向き合うように合わせてください。
- * このマグネットは、テープに影響を及ぼすものではありません。



- 2** 防塵カバーの両端を、やや斜め上から、片方ずつカチッと音がするまで押して取り付ける。

ご注意

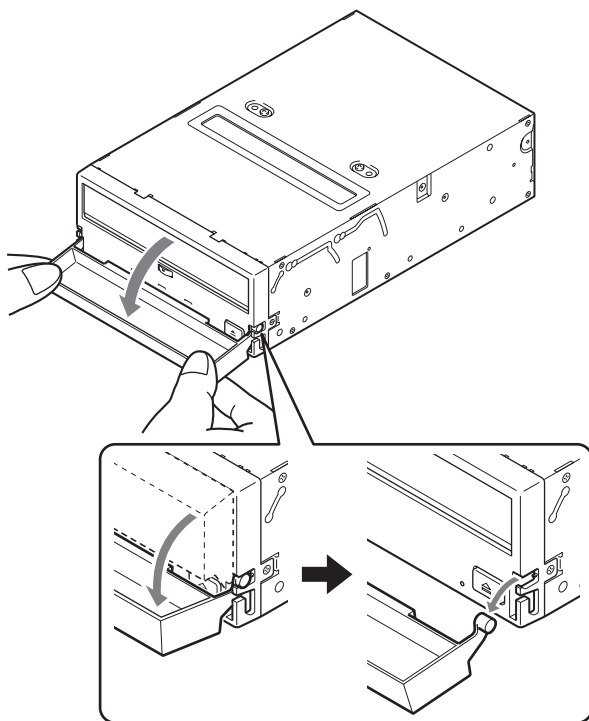
水平に押し込まないでください。防塵カバーが壊れる恐れがあります。



- 3** 防塵カバーを閉じる。
これで取り付け完了です。

取り外しかた

- 1 防塵カバーを開く。
- 2 防塵カバーの両端を持ち、ゆっくりと下げる。
防塵カバーのヒンジがベゼルから外れます。



メモ

防塵カバー付きでのご使用をお勧めします。

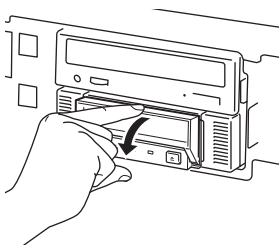
カートリッジの挿入

メモ

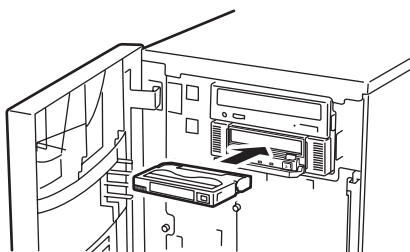
データカートリッジをセットしている間は、ホストコンピューターの電源をOFFにしないでください。誤動作やデータの破壊の原因となります。

1 ホストコンピューターの電源をONにする。

2 防塵カバーを指で開く。



3 AITデータカートリッジを下図の向きにして本機のデータカートリッジ挿入口に挿入する。



4 防塵カバーを閉じる。

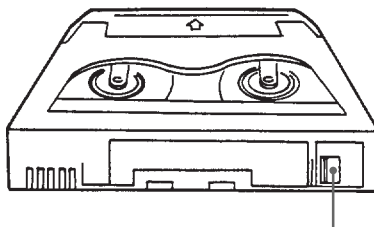
カートリッジの取り出し

SCSI Unload コマンドまたは EJECT ボタンにより、本機からカートリッジを取り出すことができます。

EJECT ボタンを押すと、テープが巻き戻され、カートリッジがスロットから自動的に排出されます。

テープの書き込み保護

カートリッジの背面のツメをスライドさせることによって、テープへの書き込みを保護することができます。この状態では、テープからデータを読み出すことはできますが、テープに書き込みを行うことはできません。



AIT-1

AIT-5
AIT-4
AIT-3 Ex
AIT-3
AIT-2 Turbo
AIT-2
AIT-1 Turbo
AIT-E Turbo



書き込みや不意の消去からテープを保護するには、ツメを矢印の方向に動かします。

再び書き込みを行えるようにするには、ツメを元の位置に戻します。

クリーニングテープ

AITドライブユニットを最適な状態に保つために、必要に応じてAITロゴのついたクリーニングカートリッジを使い、クリーニングすることをおすすめします。クリーニングが必要になると、クリーニングリクエストインジケーターが点灯します。(13 ページ)

機種ごとに専用クリーニングカートリッジをご利用ください。

	使用するクリーニングカートリッジ
AITi1040、AITi1040V	SDX5-CL
AITi520、AITi520V	SDX4-CL、SDX4-CLL
AITi390、AITi390V	SDX3X-CL
AITi260、AITi260V、AITi130、AITi130V、AITi90、AITi90V	SDX1-CL

クリーニングのしかた

- 1 本機のデータカートリッジ挿入口に、クリーニングカートリッジを挿入します。
自動的にクリーニングが始まります。

- 2 約15秒後にクリーニングが終了し、クリーニングカートリッジが自動的に出てきます。(AITi260、AITi260V、AITi130、AITi130V、AITi90、AITi90V)
約数秒から数十秒後にクリーニングが終了し、クリーニングカートリッジが自動的に出てきます。(AITi1040、AITi1040V、AITi520、AITi520V、AITi390、AITi390V)

*ドライブユニットの状態によりクリーニング時間が異なります。

ご注意

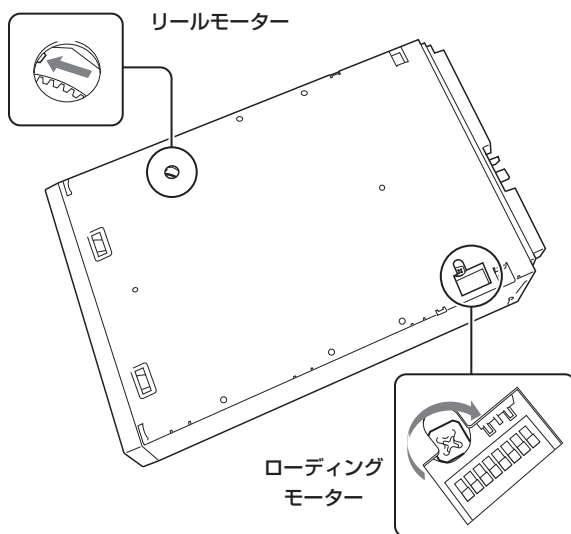
クリーニングカートリッジのテープを巻き戻して再利用しないでください。
クリーニングカートリッジを使い切った場合は、処分して新しくAITロゴのついたクリーニングカートリッジをお買い求めください。

保管上のご注意

- ☐カートリッジはケースに入れて保管してください。
- ☐ほこりやちりの多い所、直射日光の当たる所、暖房機の近く、湿気の多い所には保管しないでください。
- ☐自動車のダッシュボードやトレイには絶対に置かないでください。

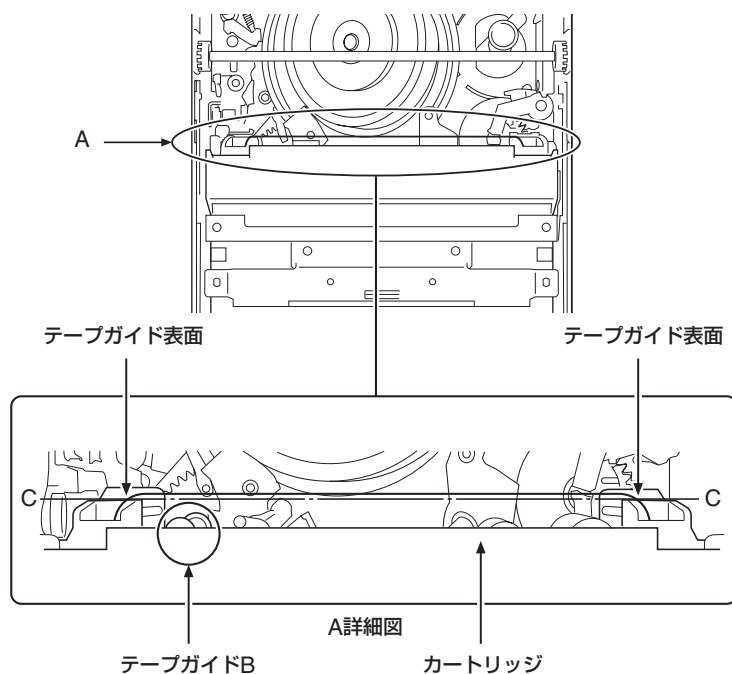
カートリッジの強制取り出しについて

- 1 ホストコンピュータから本機を取り外す。
- 2 本機のトップカバーを外す。
- 3 本機底面にある小さな穴の位置を確認する。
- 4 精密ドライバーの先端を差し込み、ローディングモーターの軸を時計回りに回して、テープ作動装置を工場出荷時の状態に戻す。



ご注意

テープガイドBがCの境界線（この境界線はテープ表面にある2個の回転部の位置を示しています）より下に来たら、直ちにローディングモーターの軸を回すのを中止してください。本機のギアを損傷することがあります。



工場出荷時のテープ作動装置の位置

- 5 テープを取り出す前に、テープを傷つけないようにしてたるみを取り除く。
本機底面にあるギアを反時計回りに回して、テープをしっかりと巻き直してください。
- 6 テープのたるみを取り除いたら、テープカートリッジがドライブ内部から外れて取り出せるまで、ドライブ底面にあるローディングモーターの軸を時計回りに回す。
本機を弊社までお送りください。修理いたします。

WORM機能について

ここでは、AITドライブのWORM機能について説明します。AITi1040, AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi260, AITi260V, AITi130, AITi130V はWORM機能に対応しています。

WORMとは

WORMとはWrite Once Read Manyの略で、テープ上の同一箇所への書き込みは一度しかできませんが、テープからの読み出しは何度でもできる機能です。

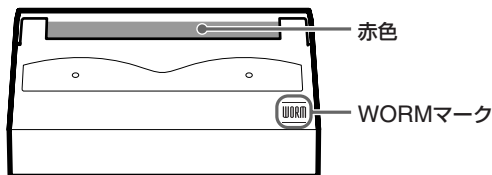
本機はWORMカートリッジをサポートしています。WORM機能をサポートしているアプリケーションとともにWORMカートリッジを使用すると、いったん書き込まれたデータが、誤って消去されたり上書きされて消えてしまうことがあります。

なお、通常のカートリッジ（WORM非対応カートリッジ）を使用した場合、使用方法は従来どおりですが、WORM機能を使用することはできません。使用するカートリッジにより、WORM非対応ドライブとWORM対応ドライブの動作は以下のように異なります。

AIT ドライブユニット	カートリッジ	
	通常のカートリッジ (WORMマークなし)	WORMカートリッジ (WORMマークあり)
WORM非対応ドライブ	書き込み/読み出し可能	イジェクト待ち
WORM対応ドライブ	書き込み/読み出し可能	読み出し可能、 書き込みは追記のみ可能

WORMカートリッジ

WORM カートリッジには、WORM マークがあり、赤色シャッターが付いていますので、通常のカートリッジと区別することができます。



AIT-5 WORM カートリッジ：SDX5-400W

AIT-4 WORM カートリッジ：SDX4-200W

AIT-3 WORM カートリッジ：SDX3-100W

AIT-2 WORM カートリッジ：SDX2-50W

WORMカートリッジを使った場合のデータ書き込み方法

データの読み出しについては、通常のカートリッジと同様に制限はありません。データの書き込みについては、すでに書き込まれている部分には書き込むことができません。

データを書き込む場合は、すでに書き込まれているデータの後に追記してください。したがって、必ずEODエリアに移動してから書き込みを行う必要があります。

SCSIコマンド

サポートしているSCSIコマンドは、WORM非対応ドライブと同じです。ただし、すでに書き込まれている部分に書き込もうとすると、「Sense Key = 07, ASC= 27h, ASCQ=00 : Persistent Write Protect」または「Sense Key=03, ASC=27h, ASCQ=04 : Write Position Error」というエラー情報を返します。

WORM機能対応アプリケーションソフトについて

WORM機能に対応したバックアップ用アプリケーションソフトをお求めの際は、アプリケーションソフト会社にお問い合わせください。

ご注意

- 本機を使用して、なんらかの不具合により書き込んだデータが消去された場合のデータ内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機使用によって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

インターフェース

SCSIメッセージ

Abort	Identify (w/&w/o Disconnect)
Bus Device Reset	Ignore Wide Residue
Command Complete	Initiator Defected Error
Disconnect	Message Parity Error
Extended Message	Message Reject
– Synchronous Data Transfer Request	No Operation
– Wide Data Transfer Request	Restore Pointers
– Parallel Protocol Request	Save Data Pointer
(AITi1040, AITi1040V, AITi520,	
AITi520V, AITi390, AITi390V,	
AITi260, AITi260V)	

SCSIコマンド

Erase	Report Device Identifier (AITi1040,
Inquiry	AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi390,
Load/Unload	AITi390V, AITi260, AITi260V)
Locate	Report Luns
Log Sense	Request Sense
Log Select	Reserve (6)
Mode Select(6)	Reserve (10) (AITi1040, AITi1040V,
Mode Select(10) (AITi1040, AITi1040V,	AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V)
AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V)	Rewind
Mode Sense(6)	Seek Block
Mode Sense(10) (AITi1040, AITi1040V,	(AITi260, AITi260V, AITi130, AITi130V,
AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V)	AITi90, AITi90V)
Persistent Reserved IN	Send Diagnostic
Persistent Reserved OUT	Set Device Identifier (AITi1040,
Prevent Allow Medium Removal	AITi1040V, AITi520, AITi520V, AITi390,
Read	AITi390V, AITi260, AITi260V)
Read Attribute (AITi1040, AITi1040V,	Space
AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V)	Test Unit Ready
Read Block Limits	Verify (AITi260, AITi260V, AITi130,
Read Buffer	AITi130V, AITi90, AITi90V)
Read Position	Write
Receive Diagnostic Result	Write Attribute (AITi1040, AITi1040V,
Release (6)	AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V)
Release (10) (AITi1040, AITi1040V,	Write Buffer
AITi520, AITi520V, AITi390, AITi390V)	Write Filemarks
Report Density Support	





性能

記憶容量

AITi1040/AITi1040V :
400 Gバイト (非圧縮、SDX5-400C テープ使用時)
1040 Gバイト (2.6 : 1 圧縮、SDX5-400C テープ使用時)

AITi520/AITi520V :
200 Gバイト (非圧縮、SDX4-200C テープ使用時)
520 Gバイト (2.6 : 1 圧縮、SDX4-200C テープ使用時)

AITi390/AITi390V :
150 Gバイト (非圧縮、SDX3X-150C テープ使用時)
390 Gバイト (2.6 : 1 圧縮、SDX3X-150C テープ使用時)

AITi260/AITi260V :
100 Gバイト (非圧縮、SDX3-100C 使用時)
260 Gバイト (2.6 : 1 圧縮、SDX3-100C テープ使用時)

AITi130/AITi130V :
50 Gバイト (非圧縮、SDX2-50C テープ使用時)
130 Gバイト (2.6 : 1 圧縮、SDX2-50C テープ使用時)

AITi90/AITi90V :
35 Gバイト (非圧縮、SDX1-35C テープ使用時)
91 Gバイト (2.6 : 1 圧縮、SDX1-35C テープ使用時)

データ転送速度

AITi1040/AITi1040V :
24 Mバイト / 秒
(非圧縮時)
62.4 Mバイト / 秒
(2.6 : 1 圧縮時)

AITi520/AITi520V :
24 Mバイト / 秒
(非圧縮時)
62.4 Mバイト / 秒
(2.6 : 1 圧縮時)

AITi390/AITi390V :
18 Mバイト / 秒
(非圧縮時)
46.8 Mバイト / 秒
(2.6 : 1 圧縮時)

AITi260/AITi260V :
12 Mバイト / 秒
(非圧縮時)
31.2 Mバイト / 秒
(2.6 : 1 圧縮時)

AITi130/AITi130V :
6 Mバイト / 秒
(非圧縮時)
15.6 Mバイト / 秒
(2.6 : 1 圧縮時)

AITi90/AITi90V :
4 Mバイト / 秒
(非圧縮時)
10.4 Mバイト / 秒
(2.6 : 1 圧縮時)

ビットエラーレート

10^{-17} 以下

環境条件

使用時

温度：	5 °C～40 °C ($\Delta T < 10$ °C/h)
湿度：	20%～80% (結露のないこと) (最大湿球温度：26 °C)

非動作時

温度：	－40 °C～70 °C ($\Delta T < 20$ °C/h)
湿度：	5%～95% ($\Delta RH < 30\%$ /h) (最大湿球温度：45 °C)

電源・その他

電源

AITi1040/AITi1040V：

5 V $\pm$ 5%
1.7 A (通常動作時)
2.5 A (最大時)
12 V $\pm$ 10%
0.87 A (通常動作時)
3.0 A (最大時)
消費電力 26 W

AITi520/AITi520V：

5 V $\pm$ 5%
1.5 A (通常動作時)
2.5 A (最大時)
12 V $\pm$ 10%
0.75 A (通常動作時)
3.0 A (最大時)
消費電力 17 W

AITi390/AITi390V：

5 V $\pm$ 5%
1.5 A (通常動作時)
2.5 A (最大時)
12 V $\pm$ 10%
0.75 A (通常動作時)
3.0 A (最大時)
消費電力 17 W

AITi260/AITi260V：

5 V $\pm$ 5%
1.6 A (通常動作時)
1.9 A (最大時)
12 V $\pm$ 10%
0.5 A (通常動作時)
1.2 A (最大時)
消費電力 14 W

AITi130/AITi130V：

5 V $\pm$ 5%
1.1 A (通常動作時)
1.4 A (最大時)
12 V $\pm$ 10%
0.4 A (通常動作時)
1.2 A (最大時)
消費電力 10 W

AITi90/AITi90V：

5 V $\pm$ 5%
1.1 A (通常動作時)
1.4 A (最大時)
12 V $\pm$ 10%
0.4 A (通常動作時)
1.2 A (最大時)
消費電力 10 W

最大外形寸法

3.5 インチ： 101.6 mm×41.2 mm×155.0 mm

5.25 インチ： 146.0 mm×41.2 mm×155.0 mm
(幅／高さ／奥行き)
(ベゼル、最大突起部を
含まず)

質量

AITi1040/AITi1040V：

3.5 インチ： 0.8 kg

5.25 インチ： 1.1 kg

AITi520/AITi520V：

3.5 インチ： 780 g

5.25 インチ： 1010 g

AITi390/AITi390V：

3.5 インチ： 780 g

5.25 インチ： 1010 g

AITi260/AITi260V：

3.5 インチ： 780 g

5.25 インチ： 1050 g

AITi130/AITi130V：

3.5 インチ： 740 g

5.25 インチ： 970 g

AITi90/AITi90V：

3.5 インチ： 740 g

5.25 インチ： 970 g

動作可能高度： 0～3048 m

動作音： 35db (A) (書き込み／読
み出し時)

60db (A) (カートリッジ挿
入／取り出し時)

*A 特性音圧レベル

ご注意

騒音計は、本機前面中
央より1 m先に設置し
ています。

仕様および外観は、改良のため予告なく変
更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ先

本機に対する修理依頼・お問い合わせは、お買上げの販売店に
お願いします。

デバイスドライバーについて

最新のデバイスドライバーについては、ソニーのホームページでご案内
しています。下記のURLを参照してください。

[http://www.sony.co.jp/Products/storagesolution/documents/
index_sony.html](http://www.sony.co.jp/Products/storagesolution/documents/index_sony.html)

<http://www.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1